

みやけの風

第 167 号

平成16年(2004年)3月27日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

25日は長男坊の小学校の卒業式でした。2000年9月1日、2学期の始業式で「三宅島から来ました。しばらく皆と一緒に学びます」と全校生徒の前で紹介されたのが昨日の事のように。しばらくどころか、卒業まで過ごすことになりました。お世話になった島の保育園や小学校の先生方が思い出され、思わず涙が出ました。季節の節目に、子ども達の成長に立ち会えない島の先生方の淋しさを思わずにはられません。

第8回三宅島島民ふれあい集会開催決定！と 島民実行委員会 参加 のお誘い

三宅村、港区、その他関係各期間との調整の結果、
5月9日(日)10:30～15:30 港区立芝浦小学校および幼稚園において、
 前回同様、実行委員会形式にて開催することとなりました。
4月4日(日)13:30～飯田橋セントラルプラザ12F C会議室にて、
島民実行委員会を行い、たくさんの方々からのご意見やアイデアを盛り込んで、
 よりよい集会にしていきたいと思っております。
 どなたでもご参加いただけます、一人でも多くの方のおいでをお待ちしております。
 第8回三宅島島民ふれあい集会実行委員会事務局 三宅島災害・東京ボランティア支援センター

みんなの声

春の香り、季節の味

八百屋の店先で新玉葱を見つけた。思わず、手に取り、レジに並ぶ。

今日のつまみは、新玉葱炒めに決めた。輪切りにして、さっと炒め、ソースをかけただけの物。義父から教えてもらった時は、「えー、たったそれだけーっ」と思ったけれど、これが結構、玉葱好きにはたまらない。

一年中、あらゆる野菜が手に入る今、新玉葱は季節を感じられる、数少ない野菜の一つ。

三宅にいる時は、義母からたくさんの野菜を貰い、こんなにどうしようなんて。今思えば、何とも贅沢な悩みだった。旬だからこそ、味わえたおいしさ。

これからの季節、竹の子に、ふきに、磯物に。三宅の春は、“のたり、のたりかな”なんて言っていられない。そんなことを思い出しながら、春の甘さをほおばった。

(武蔵村山市 築穴美喜子)

三宅高校訪問報告とお礼

「振り返ってみると、三年間はあっという間だった。楽しいことや、悲しいこともたくさんあった。それに、僕らは三宅高校の校舎で授業を受けたことがない。だから、一度でいいから授業を受けてみたかった。校舎を使ってみたかった。でも、噴火のおかげで、いろいろ経験できたし、

とても充実していました」

これは、この春卒業を迎えたある生徒の作文です。三宅島の三宅高校へのあこがれを胸にしまって3年間秋川校舎で過ごしてきましたが、この度三宅高等学校PTAと三宅村役場ほか、関係諸機関のご協力のもと三宅高校訪問が実現することができました。また、この日神着地区の一時帰島に参加された島民の皆さんからは温かく見守っていただきました。ありがとうございました。以下に三宅高校訪問を報告します。

2月27日夜8時半、竹芝棧橋に集合しました。久しぶりに顔を合わせるとまた少し大人になったと感じました。2月28日、まだ朝日の見えない時間に船は三宅島に着き、バスで学校まで行きました。朝日が昇ったころ、バスから降り、学校へ向かいました。長い船旅で疲れているのではというこちらの心配にも関わらず、生徒たちは校舎に入ってすぐそれぞれ探検し始めました。そして、3年半ぶりに学校内に子どもたちの声が響きました。

ある生徒は、屋上に上り雄山や御蔵島を眺め、またある生徒は「2000年文化祭」というポスターを見つけました。先輩たちが作ったドレスに感動している生徒もいました。一通り学校内を見学した後、中庭には秋川校舎名物メタセコイアと、校内にあったツバキの苗木を植えました。まだ

小さな木ですが、次に来たときには大きくなった姿が見られるかもしれません。植樹の後、教室に戻り、ベニヤ板に寄せ書きを書いて学校を後にしました。島内をバスで移動し、砂防ダムの建設現場を見学し、大久保浜の砂浜でゆっくりしました。避難当時は15歳だった彼らは、18歳の目で島内の自然や状況を見つめることができたと思います。昼食はクリーンハウスでいただいた後、三池港に戻りました。

生徒たちの感想の声は・・・

「気持ちの整理ができた」「三宅島の三宅高校で勉強してみたかったけれど、先輩たちとは違う経験ができてよかった」「みんなで学校に来

ることができて、よかった」「楽しい1日だった」

学校に戻った後、三宅島の高校内にあったヤシャブシの木を秋川校舎内に植えました。三宅島と秋川に彼らがいた証を残すことが出来ました。また、三宅島に植えた椿にはつぼみが膨らんでいたそうです。

この機会であらためて感じたふるさとへの思いを胸に、卒業生それぞれの進路で活躍してくれることを祈っています。

写真等三宅高校の様子はインターネットで是非ご覧ください。

<http://www.miyake-h.metro.tokyo.jp/>

(三宅高等学校 岡田 満江)

■神戸21世紀復興記念コンサート2004／三宅島民支援コンサート■

モーツァルト作曲『レクイエム』にご招待

～華麗なるオーケストラと合唱&能舞囃子による幽玄の世界～

本年も神戸と東京を結び、神戸21世紀復興記念コンサート&三宅島民支援コンサートを開催されます。650年の伝統を今に残す日本の仮面劇「能」との共演。ロシア人独唱者と美しい合唱、昨年旗揚げされた若手精鋭オーケストラ「フィルハルモニア神戸」と「フィルハルモニア東京」と共に、山本郁夫指揮・演出による斬新で荘厳な舞台。様々な話題を掲げて、モーツァルト自身の「生と死」をテーマに展開される深い祈りの世界がくり広げられます。当日のコンサート運営サポートボランティアも歓迎します。

開催日時：2004年4月11日(日) 13:30開場 14:00開演

会場：大田区民ホールアブリコ 大ホール (JR京浜東北線蒲田駅東口徒歩3分)

演目：モーツァルト作曲「レクイエム」

山本郁夫作曲「幽玄の饗(続レクイエム)」(新作初演)

ブラムス作曲「Nanie(ネーニエ)哀歌」

出演：独唱 黒澤麻美 / ヴァレンティーナ・ルーバン 他

合唱 三宅島民合唱団「アカコッコ」、東京モーツァルテウム合唱団、

神戸アマデウス合唱団、六甲少年少女合唱団

能舞 遠藤六郎(観世流)管弦楽 フィルハルモニア東京 他

指揮 山本郁夫

お申込：東京ルネサンス倶楽部 TEL：03-3298-5159

耳より報

薔薇笑亭SKD 夢★愛♡翔 パートⅢ 劇場公演10回記念公演 銀座博品館劇場

三宅島島民30名様 ご招待 薔薇笑亭 SKD

昨年秋はご観劇有難う御座いました。大変なご好評に、出演者と関係者一同も感謝感激でした。各回7～8名をご招待させていただきます。今回はどん底から復活し、劇場公演10回記念公演で特に燃えています。皆様と“夢と元気”を、分かち合いましょう。

招待日時：5月6日(木) 19:00

7日(金) 14:00、19:00

8日(土) 12:00、17:00 開場は、各々30分前

場所：銀座博品館劇場 銀座8丁目角 TEL：03-3571-1003

(JR,地下鉄新橋駅、地下鉄銀座駅より徒歩5分)

応募方法：往復葉書に 住所、氏名、年齢、性別、職業、希望日時 を記入の上郵送

切：4月15日

当選者：“薔薇笑亭SKDご招待”判を押し、返送いたします。

来場方法：当日 葉書持参の上、8階 招待受付へ提示。

応募先：〒116-0003 荒川区南千住5-36-18フラットソフィア101

薔薇笑亭SKD みやけ係り

電話 & FAX：03-5689-4443 E-メール：yisophia@ace.ocn.ne.jp